



生命環境学部・大学院医工農学総合教育部生命環境学専攻 この一年（令和6年4月～令和7年3月）

令和6年度 山梨大学 入学式

4月5日（金）、YCC 県民文化ホールにおいて入学式を挙行了しました。

生命環境学域では、学部162名、修士課程53名、博士課程7名、計222名の新生が、新生活をスタートさせました。式では、中村和彦学長が「デジタル化されていく社会で特に大切なものは思考力、判断力、コミュニケーション能力であることを心に留めてほしい」と式辞を述べました。



令和5年度 生命環境学域 学生表彰

生命環境学域では、学部生として、優秀な成績を取めた学生及びその行為が社会的に高く評価された学生、また、修士課程で学術研究活動において顕著な業績を挙げたと認められた修了予定者等、生命環境学域学生の模範となり得ると認められた学生に対し学生表彰を行っております。

令和5年度は33名の学生が対象となり、3月22日（金）に学部4年次生・修士課程2年次生（卒業生）、在学生については4月9日（火）に表彰を行いました。



シン・山梨大学ワインプロジェクト クラウドファンディング開始

山梨大学ワイン科学研究センターは、所属教員、技術職員の更なる技術力向上および学生の知識深化を目指し、ブドウ栽培からワイン醸造、瓶詰め、エチケット・デザインまで山梨大学ですべてを行なう「シン・山梨大学ワインプロジェクト」を立ち上げました。

4月1日から5月30日まで実施されたクラウドファンディングでは223名の方々からご支援をいただき、目標金額を大きく上回る7,803,000円のご寄付が集まりました。

今年度もプロジェクト第2弾として「山梨大学ブランデー製造プロジェクト」が開始となっています。

山梨大学の情熱が生んだ山梨大学ブランデーが、皆様に愛される『究極の滴』となるためにも、あたたかな応援・ご寄附をどうぞよろしくお願いします。



大村記念微生物資源研究フロウティラ開所式・シンポジウム

6月3日(月)、大村記念微生物資源研究フロウティラ開所式及びシンポジウムを開催しました。

『大村記念微生物資源研究フロウティラ』は微生物資源を活用した創薬研究による人類の健康・福祉への貢献を目指す研究組織として設立されたものです。

開所式には、大村智 山梨大学特別栄誉博士、花木秀明 北里大学大村智記念研究所感染制御研究センター長(今年度より本学特任教授)らが来賓として出席し、大村博士からは「微生物資源の利活用研究、創薬に関連する研究は、未来志向の連携共同事業であり、学術の発展と人材育成に貢献することを期待している」と激励の言葉をいただきました。

同日に開所記念シンポジウムも行われ、山梨大学及び北里大学の関係者、本学学生、あわせて約70人が参加しました。



山梨大学ワイン科学士認定証書授与式

6月13日(木)、大村智記念学術館において、第16回山梨大学ワイン科学士認定証書授与式を挙行し、ワイン科学士19名・準ワイン科学士5名を認定しました。ワイン科学士は、山梨大学ワイン・フロンティアリーダー養成プログラムを修了し、認定試験に合格した方に授与されるものです。このプログラムは、国産ワインの品質の向上、地域ブランド化、さらにはグローバルスタンダード化を中核となって推進できるフロンティアリーダーの養成を目指しており、2015年に文部科学大臣から職業実践力育成プログラムに認定されたものです。



※準ワイン科学士に認定された本学学生の皆さん

大村智記念基金奨学金授与式

6月14日(金)、大村智記念学術館において、山梨大学大村智記念基金奨学金授与式を行いました。

この奨学金は本学独自の制度であり、学部学生の学業を奨励するものです。生命環境学部からは各学科1名、計4名の学生に中村和彦学長より目録と記念色紙が授与されました。

生命工学科 小林春菜さん 地域食物科学科 保坂文香さん
環境科学科 志村優太さん 地域社会システム学科 植松 佑さん



柳田藤寿 教授が第 48 回野口賞を受賞

地域食物科学科・柳田藤寿教授が第 48 回野口賞（山梨日日新聞社・山梨放送・山梨文化会館主催）芸術・文化部門を受賞し、7 月 3（水）、山日 YBS ホールにおいて贈呈式が行われました。

同賞は、山梨県の「郷土研究」「体育・スポーツ」「芸術・文化」各分野で顕著な業績を収め、同県の発展に貢献した個人・団体に贈られるものです。

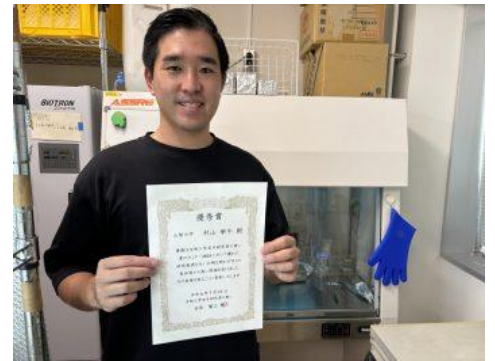
柳田教授は、自然界などから有用な発酵微生物を分離し、数々の発酵食品を開発したことで、山梨県の食品産業文化の向上に貢献したことが評価され、今回受賞となりました。



【学生受賞】

日本生物工学会若手研究者の集い（若手会）夏のセミナー2024 ポスターセッション 優秀賞

7 月 13 日（土）～14 日（日）に北海道・富良野にて開催された、（公社）日本生物工学会若手研究者の集い（若手会）夏のセミナー2024 のポスターセッションにおいて、大学院博士課程統合応用生命科学専攻生命農学コースの村山拳午さん（指導教員：大槻 隆司 准教授）が優秀賞を受賞しました。



地域食物科学科・片岡良太准教授が本学附属幼稚園の年長児に食品残渣を 活用したキノコ栽培を指導

7 月 18 日（木）、地域食物科学科・片岡良太准教授が本学附属幼稚園の年長児に各家庭から持ち寄った食品残渣を利用したキノコの菌床作りを指導しました。

園児たちは事前に乾燥処理をした食品残渣にコーヒーや麦茶のカス、もみ殻などを混ぜ、菌床作りに取り組み、家から持ってきた食品残渣の変化にとっても驚いた様子を見せていました。

作成された菌床は片岡准教授の研究室で培養されたのち、秋に収穫作業も行われました。

今回の取り組みは園児にとって「食品ロス」解消に向けた「リサイクル」を実際に体験しながら学べる貴重な機会となりました。



高校生への公開授業

7月29日(月)～8月8日(木)、山梨県内の高校生を対象に、公開授業「自然と社会の共生科学」を開催しました

今年度は大学全体で59講義、生命環境学部では8講義を開講しました。大学の授業に触れる機会を通して、学問の奥深さ、面白さを知るきっかけとなれば嬉しく思います。

生命環境学部 開講授業【自然と社会の共生科学】

8月6日(火)

- 生命-1 幹細胞と再生医療(生命工学科:永松 剛 教授)
- 生命-2 財政学と財政民主主義(地域社会システム学科:門野 圭司 准教授)
- 生命-3 農作物の病気について(地域食物科学科:青木 是直 助教)
- 生命-4 農業の現在を知る-気候変動との闘い-(環境科学科:黄瀬 佳之 准教授)

8月7日(水)

- 生命-5 食物科学入門(地域食物科学科:望月 和樹 教授)
- 生命-6 暮らしを支える水の再生技術(環境科学科:亀井 樹 助教)
- 生命-7 遺伝子と先天性疾患(生命工学科:鈴木 堅太郎 教授)
- 生命-8 パートナーシップ、あるいは同性婚(地域社会システム学科:稲田 和也 教授)

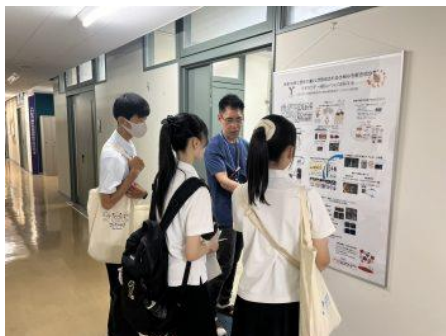


オープンキャンパス

8月3日(土)、オープンキャンパスを開催しました。

午前・午後の2部制で、学科ごとに学科紹介、研究紹介、施設見学、ミニ実験、模擬講義、大学生活紹介、保護者向け説明等を行いました。昨年に引き続き、今年度も参加者に喜んでいただけるよう、附属農場で収穫した桃、新学部グッズ(フィルムフセン)を配布しました。

猛暑の中、約600名の高校生・保護者にご参加いただきました。



令和6年度 山梨大学学業成績優秀者表彰式

本学では、学業において特に優秀な成績を収め、かつ本学学生の模範となると認められた学生を学業成績優秀者として表彰しています。

10月1日(火)、大村記念ホールにおいて学業成績優秀者表彰式を行い、生命環境学部からは各学科1名、計4名の学生が表彰されました。

生命工学科 伊藤愛華さん 地域食物科学科 若月和信さん
環境科学科 太田裕貴さん 地域社会システム学科 小倉果純さん



JR東日本 甲府駅との連携イベント「学生駅ハイ」

地域社会システム学科・菊地淑人准教授が連携・協力した、東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)甲府駅による「学生が考えた駅からハイキング“城下町の秋を感じる 文化と食の『かふふ』まちあるき”」のイベントが10月12日(土)～11月24日(日)に行われました。

開催期間中は、駅構内放送、車内放送等でも本学学生による告知が流されました。



令和6年度 山梨大学ワインセミナー

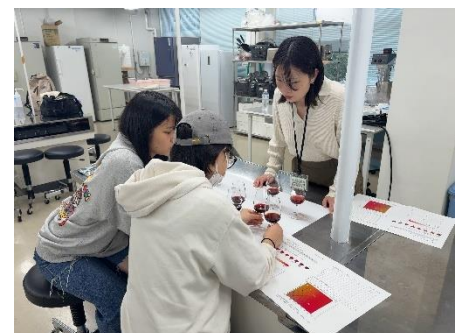
10月19日(土)、東京都内において、山梨大学ワインセミナーを開催し、首都圏等から約60名が参加しました。これはワイン科学研究センターが毎年開催しているもので、本学教員、山梨県および山梨県ワイン酒造組合の専門家の解説をききながら、ワインをテイスティングするイベントです。

今回は、地域食物科学科・柳田藤寿教授、青木是直助教、山梨県産業技術センターワイン技術部長・木村英生氏の講演の後、「2024年日本ワインコンクール」で受賞したワインを含む、厳選した7種類のテイスティングを行いました。



地域食物科学科 秋のオープンキャンパスを開催

10月26日(土)、地域食物科学科 秋のオープンキャンパスを開催し、多くの高校生・保護者にご参加いただきました。夏に続き2度目のオープンキャンパスとなる今回は、「聞く(教員による研究紹介)」、「見る(施設見学)」、「感じる(在校生・卒業生による学科紹介)」、「知る(保護者向け説明会)」の4つの企画を実施しました。



就職活動座談会&就職支援セミナー

10月21日（月）、生命環境学部及び生命環境学専攻の学生を対象に、就職活動座談会を開催しました。

就職活動経験者として、学部4年生、修士2年生計6名から就職活動について報告があった後、下級生を交えて情報交換を行いました。

また、10月30日（水）には就職支援セミナーも開催され、『秋冬インターンシップ対策講座』として株式会社マイナビから講師の方をお招きし、本選考対策・就活準備を進めるうえで大事なことについてご講義いただきました。実際に、本講義でエントリーシート（ES）の効果的な書き方について、実践的な講義が行われ、後日、学生が実際に作成したESを個別に添削していただける貴重な機会も設けられました。

参加した学生からは、「具体的な情報を得られたことで、インターンシップ参加や採用のプロセスをよりリアルに感じることができた」「就職活動に向けて何を始めるべきかが明確になり、不安が軽減した」といったポジティブな声が多く寄せられ、非常に有意義な時間となったようです。

生命環境学部では、引き続き、将来の目標に向かって頑張る学生をサポートしていきます。



ペアレンツデー

11月4日（土）、甲府キャンパスの大学祭2日目に合わせて「ペアレンツデー」を開催しました。これは、お子様のキャンパスライフの一端をご体験いただければと思い、生命環境学部と工学部の在校生の保護者を対象に開催したものです。当日はあいにくの天気でしたが、両学部に関連したセンター（クリーンエネルギー研究センター、燃料電池ナノ材料研究センター、クリスタル科学研究センター、ワイン科学研究センター）等の見学や特別講演会にご参加いただきました。



モンゴル生命科学大学の研究者のみなさんが来学

令和6年11月5日～13日まで、モンゴル生命科学大学の研究者3名が来学されました。モンゴルの若手人材開発の目的で行われているモンゴル工学系高等教育支援事業（M-JEED）の一環で、地域食物科学科の園芸研究室を訪問し、植物成長促進微生物の評価方法についての研修を受けました。

滞在中、一行は学内のさまざまな施設の見学を行ったほか、岸上学域長を表敬訪問し、今後の交流について意見交換を行いました。



【学生受賞】

日本ブドウ・ワイン学会 2024 札幌大会 大会発表賞

12月7日（土）～8日（日）に北海道大学で開催された日本ブドウ・ワイン学会 2024 札幌大会において、大学院修士課程（食物・ワイン科学コース）2年の大田夢子さん（指導教員：久本雅嗣 准教授）が、大会発表賞（ポスター発表）を受賞しました。



東京都立農芸高校の生徒のみなさんが来学

12月24日（火）、東京都立農芸高校の皆さんが大学見学のため、来学されました。

地域食物科学科・片岡良太准教授から学科紹介や本学部で行われている研究についての説明を受けた後、ワイン科学研究センターなどの見学を行いました。研究紹介の場面では、生徒の皆さんから積極的に質問する姿も見られ、有意義な時間となりました。



【学生受賞】

国際会議 GXI-ZES2025 Poster Award

1月16日（木）、国際会議 GXI-ZES2025 において、環境科学科3年の渡邊琴弓さん（指導教員：島弘幸教授）が Poster Award を受賞しました。

この本国際会議は、Green Transformation（＝脱炭素社会の実現に向けた社会変革）に関する最新成果を共有する目的で、東京科学大学(旧:東京工業大学)が主催したものです。3日間の会期中に64件の口頭発表と51件のポスター発表が行われ、そのうち審査を通過した9名の発表者に対して Poster Award(優秀ポスター賞)が授与されました。



【学生企画イベント】

「将来を悩む大学生へ！～女子大生が伝えるライフスタイルのかたち～」

1月25日（土）、生命環境学部地域社会システム学科所観光政策科学特別コース所属の学生グループ「FC」（エフ・シー）企画のイベント「将来を悩む大学生へ！～女子大生が伝えるライフスタイルのかたち～」が山梨大学赤レンガ館・オンライン配信にて開催され、約50名が参加しました。FCは令和6年6月から、人口減少や若者の流出によって地方が抱える課題の解決と将来について悩む学生へ「地方での将来の選択肢」を広げてもらうため、県内各地でさまざまな活動を実施しており、今回のイベントはその集大成となり、これまでの活動報告や有識者との対談などが行われ、参加者からは「将来に対する悩みを解決するきっかけとなった」といった感想が寄せられました。



令和6年度 学生表彰式

本学では、優秀な成績を取めた学生及びその行為が社会的に高く評価される等学生の模範となりうると認められた学生を表彰しています。

令和6年度は学部・専攻から1団体、3個人が受賞となりました。

★学生表彰（学術研究活動）

渡邊琴弓さん（環境科学科3年）

大田夢子さん（大学院修士課程（食物・ワイン科学コース）2年）

★学生表彰（社会活動）

Team FC【清水心琴さん、松田ひなたさん、長澤佑香さん、
垣内愛理さん、村松来海さん、小林咲穂さん】
（地域社会システム学科3年）

村山拳午さん（大学院博士課程（生命農学コース））



定年退職教員を送る会

工学域・生命環境学域定年退職教員を送る会が開催され、本学部からは、3月31日に定年退職される地域食物科学科・舟根和美教授が出席しました。

※同じく定年退職となる、地域社会システム学科・大山勲教授、
渡邊靖仁教授は所要のため欠席。

これまで、教育、研究及び大学の発展のためご尽力いただき、誠にありがとうございました。



卒業・修了式

YCC県民文化ホールにおいて、令和6年度山梨大学卒業式・修了式を挙行し、生命環境学域では、学部149名、修士課程36名、博士課程8名、計193名が卒業・修了しました。

中村和彦学長が卒業生・修了生代表に学位記・修了証書を授与し、「社会の要請をしっかりと受け止め、真正面から挑戦し、社会に必要とされる人になっていただきたい」と式辞を送りました。

卒業・修了生のみなさん、おめでとうございます。

